

GIGA 校内研修推進リーダー研修会（実践発表）

1 校内研修・共通実践について

校内研修

- 4月：Google クラスルームの設定の仕方と使い方，カメラ・音声機能等・Jam ボードの使い方
- 5～7月：オクリンクの設定の仕方・使い方
- 6～7月：Google フォームの使い方
- 8月：タブレットを使った効果的な活用事例検討研修

共通実践（ルール作り）

- ・端末を積極的に活用していくにあたって，学習以外で端末を使用しないことを確認した。
- ・休み時間（長休みや昼休み）に端末を使用する場合，ドリルパークを進めることにした。
- ・休み時間に調べ学習等で検索したい場合は，担任の許可のもと，使用を認めることにした。
- ・持ち帰り時には担任がどのような使い方をしているかチェックすることが出来ないのので，保護者にお便りを出し，検索等については，保護者立ち会いのもと行うことにした。
- ・ルールを守れなかったときは，一旦使用を制限し，どのように使えば良いのか確認・指導した上で使用することにした。
- ・指定された URL から，タイピングソフトを使っても良いことにした。（児童が休み時間に使用）

共通実践（環境作り）

- ・いつでも使いたいときに使えるように，朝学校に来たら，端末を充電庫から取り出し，ログインした状態で端末用の手提げバッグに入れて机の横にぶら下げておくことにした。
- ・校内研修を行ったり，GIGA 通信を発行したりして，どんな使い方ができるか提示した。（使い方が分からない教師には個別に研修を行う）
- ・情報モラルについて，放送での指導やクラス担任による指導を行い，トラブル防止に努めた。
- ・1年生については，ログイン・ログアウト，文字入力等の操作が困難であることから，6年生と合同で使い方の授業を行い，6年生が基本的な操作の仕方を教えた。
- ・情報の共有を行いやすくするため，Google クラスルームを各学級・学年で設定した。また，写真等のデータを共有しやすくするために，Google ドライブの共有ドライブに各学級のページを設定した。

共通実践（全校）

- ・Google Meet の使い方を知らせ，全校で Google Meet の操作を確認する時間を設定した。（友達の顔を全員見ることができるよう設定し，参加の仕方，消音等の切り替え，発言の仕方，壁紙設定等）
- ・読み聞かせで利用できるように，絵本データを共有した。
- ・Google フォームを学校アンケートや学校アンケート等で使用してもらった。

2 取組してきた成果や課題

- 児童は端末使用に好意的であり，進んで端末を使った学習に取り組んだ。
- 児童はオクリンク等の普段から使用頻度が多いアプリを素早く開くことが出来るようになり，授業で使用しやすくなった。
- 校内研修を行うことで，教職員は少しずつ端末の操作に慣れ，新しく入れたオクリンクやドリルパークを授業で進んで使用するようになった。
- 1学期は手探りの状態であったが，教職員は進んで端末を使用した学習を行った。昨年度に引き続き，教員はデジタル教科書を頻繁に使用して授業を行った。
- △端末を学習以外の場面で使用してしまうケースがあった。そのようなことが起こらないようにするために，児童と共にルール作りを行い，それと同時に情報モラル教育の徹底を行う必要がある。
- △授業で端末を使用したがるが，端末がなくても同じような授業ができる場合があった。特定の教科・単元では使用するのが難しいものもあった。そのため，継続して教材研究をしていく必要がある。

3 有効な授業実践事例（端末操作については、高学年と低学年では大きな差があるため、使用する場面が異なった。低学年でも使える使用方法を探り、その実践が適切であったか検証した。）

<低学年でも行えた実践例>

○カメラ機能を使って、気付いたことや感想を伝え合う。

- ・生活科でアサガオや育てている野菜を撮影し、観察する。
- ・図画工作で作った作品を撮影し、オクリンクで提出後、感想を伝え合う。

○動画撮影の機能を使った学習・発表等

- ・体育科の鉄棒で、逆上がりをしている様子を撮影し、自分の動きを確認する。
- ・ボール投げの動きを撮影し、上手く投げている児童の動きと比較する。
- ・自分の音読を撮影し、読み方を確認する。（家庭に端末を持ち帰る際にも使用）
- ・他学年に対する絵本の読み聞かせ・委員会の発表等

○オクリンクを使用した学習（課題に対する考えを提出させて全員の考えを共有・一人の児童の考えた図を全体に共有し、その図を使って考えを説明させる等）

- ・生活科で、自分が選んだ写真を全員に送り、その写真について気付いたことを書きこんでもらったものを見合い、全体で共有する。
- ・国語科の漢字の学習「同じ部首をもつ漢字」で、自分が知っている漢字や調べた漢字で漢字クイズを作成し、交流する。
- ・算数科の学習で式や図などを書き込み、それを基に話し合いを行う。全体に提出した図・式を共有し、1人の児童の考えをペアで話し合う。
- ・道徳で短い言葉で考えを提出し、それを交流する。
- ・図画工作科で作品を鑑賞する際に、オクリンクを使ってデータを共有し、感想を提出したり、考えを交流したりする。



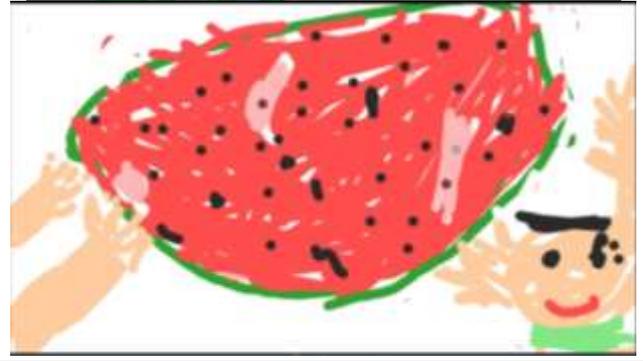
図画工作科「ひかりのプレゼント」
写真を撮影し、オクリンクで提出する。クラスで共有し、感想を伝え合うために活用した。自分たちが撮ったものをその場で共有できるため便利だった。



生活科「新しいものいっぱい」
クラス・学年で共有ドライブを設定し、同じ学年の児童が撮影した動画を見合えるようにした。自分たちで撮影した動画をチェックし、動画を撮り直し、最終的に1年生に自分たちの読み聞かせを紹介した。



生活科「大きくそだて わたしのやさい」
You tube の動画視聴後、摘み取らなければならない脇芽の見きわめ方をオクリンクで提出させ、クラス全員が脇芽の見きわめができるようになったところで、育てているミニトマトの脇芽取りを行わせた。



図画工作科「見て見て あのね」

オクリンクを使って、お絵かきをしてもらい、提出させた。どんな絵をかいたのか児童に紹介させ、その絵の感想を伝え合った。1年生でも絵をかいて提出することができるため、端末に慣れるのに有効だった。



体育科「マット運動」

マット運動の際、自分がどんな動きをしているのか、客観的に見せるため、児童のマット運動の様子をビデオ撮影させ、オクリンクで共有した。見本になる児童の動画と比べて、どこが違うのか動画を何度も止めて確認した。グループで話し合いをさせながらマット運動の上達に繋げることができた。

①いつもおんが言っているでうううはなんでしょう。	こにえ(うし)おけは(きゅう)と言ったから)	クモがさかだちするのはなん曜日。	こにえ(木曜日)おけは(1750)2人といは、モリ)だもん	こにえは、○×7/18です	赤、ちんこのぼろの数々は...おんが多いう	○
ネコはあせをかかない?	X		こにえ(ピカチュウ)		こにえ(メタモン)	

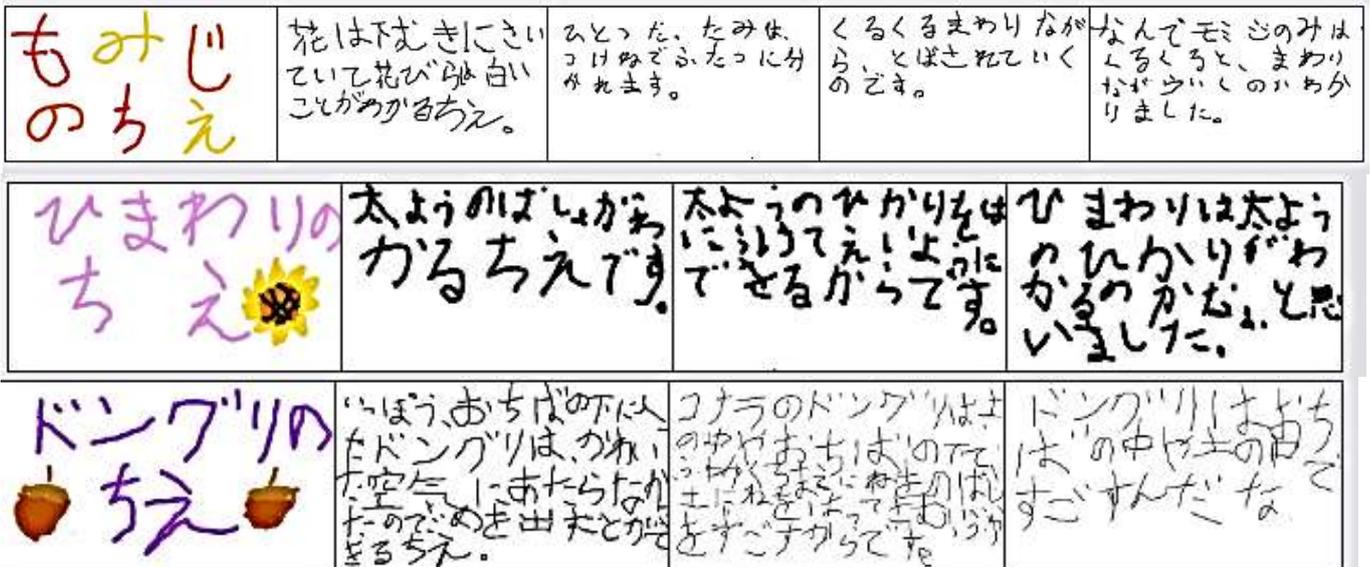
学活「お楽しみ会2年生」

お楽しみ会でクイズを児童がクイズを作りたいということであったので、オクリンクを使ってクイズを作らせた。休み時間に係の児童がスクリーンショットをしたり、手書きをしたりしながらクイズを作成していた。低学年にスライドを使わせるのは難しいが、オクリンクで代用できるため、有効であった。



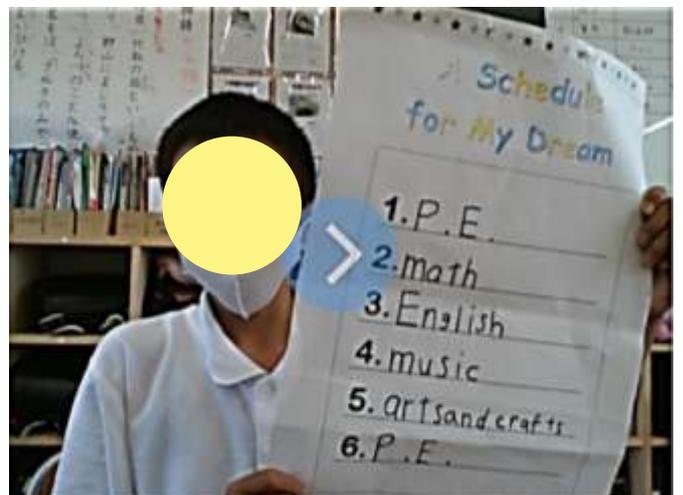
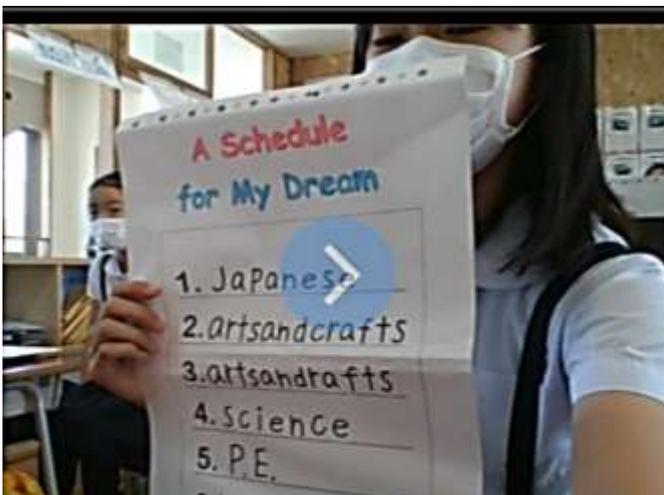
国語科「同じぶぶんを もつかん字」

同じ部分をもつ漢字の学習をした後、漢字のクイズを作りたいという意見が出たため、オクリンクを使って漢字クイズ大会を行った。児童が主体になり、問題を出し合っていた。



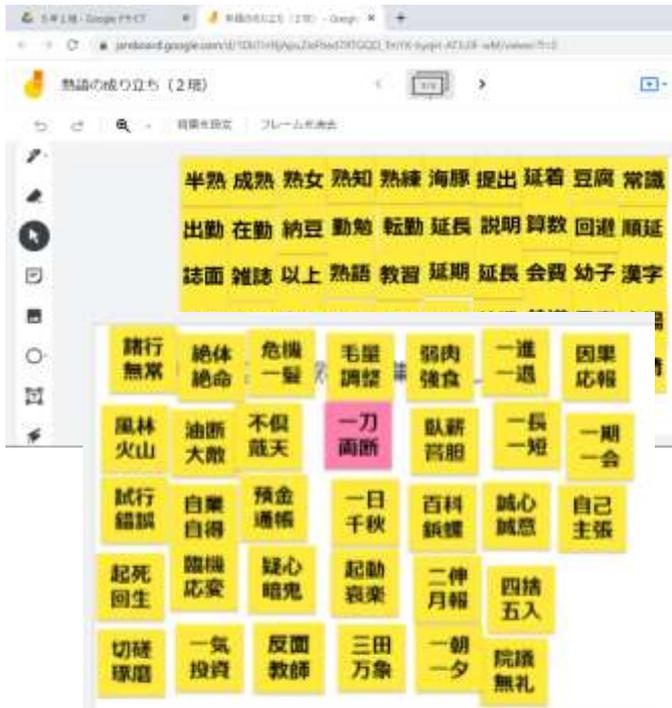
国語科「たんぼぼの ちえ」

並行読書した本から、植物のちえを読み取り、オクリンクで共有した。自分が調べたもの以外の植物のちえをすぐに共有することができ、色んなちえがあることを理解していた。本の写真を撮って説明する際に拡大して提示する工夫をする児童もいた。



英語「夢についてスピーチしよう」

自分の夢についてスピーチする前に、自分の発音を録音し、チェックした。動画を見直し、撮りなおした。オクリンクで共有したことで、友達のスピーチと自分のスピーチの違いを比べることもできた。



国語科「熟語の成り立ち」

<指定された熟語を集める学習活動>

共有ドライブに、班のファイルをあらかじめ作成しておき、班で自分が知っている2～4字熟語を付箋に書き込み、班で整理した。グループのメンバーが知っている熟語をグルーピングすることもできた。